

平成29年度 姉妹都市滑川市への豊頃町少年親善使節団派遣事業報告

小学生11名が滑川市へホームステイ

平成元年度から始まった姉妹都市滑川市への豊頃町少年親善使節団派遣事業は、これまで、延べ346名(団員284名、引率者62名)を滑川市へ派遣し、両市町の交流を深めてきました。15回目を数える今年度は、中村真也豊頃小学校長を団長に、団員11名、引率者4名の計15名が7月29日(土)から8月1日(火)の3泊4日で、滑川市を訪問しました。

7月29日(1日目)

える夢館で結団式終了後、新千歳空港から空路、富山空港へ。空港から滑川市への移動中、バスの車窓から見える瓦屋根や水田に、子どもたちは興味津々の様子でした。



滑川市 上田市長と握手



対面式で笑顔を見せる子どもたち

滑川市到着後は、歓迎式に出席し、滑川市長、市議会議長をはじめ、関係者の皆様が使節団一行を温かく迎えてくれました。

7月30日(2日目)

子どもたちは、緊張した面持ちでしたが、一人一人がしっかりと大きな声で自己紹介でき、斉藤瑠唯さんの児童代表あいさつも、内容、態度ともに素晴らしいです。その後に行われたホストファミリーとの対面式では、緊張も解け、笑顔がたくさん見られるようになり、子どもたちは元気いっぱい、ホームステイ先に向かいました。



東福寺野自然公園でバーベキュー

研修2日目の午前中は、ホストファミリーの方々と一緒に、滑川市内の施設巡りをしました。ほたるいかミュージアムでは、ほたるいかの生態や漁の仕方などを学び、ほたるいかが滑川市の誇るべき宝物であることがよく分かりました。

その後に見学した滑川市児童館は、地元の杉をふんだんに使ったぬくもりのある施設で、子どもたちを大切に思う滑川市



滑川市ほたるいかミュージアム ホストファミリーの皆さんと共に

7月31日(3日目)

お別れ式で始まった研修3日目。ホストファミリーとの別れは、大変寂しいものでしたが、離れがたい気持ちをこらえて、富山駅に移動しました。



JR 富山駅にて まもなく乗車

本当の家族のように接してもらったこの3日間は、子どもたちにとって、一生の思い出になったことと思います。派遣事業後半は東京を舞台にした研修でした。富山から上野への移動は北陸新幹線を利用し、東京に着いたこの日は、「東京スカイツリー」と「すみだ水族館」を見学しました。

8月1日(4日目)

高層ビル群や人の多さに圧倒されながらも、五感いっぱい東京を感じた子どもたちでした。

研修4日目は、上野動物園の見学でした。話題の赤ちゃんパンダは、お披露目前で見ることができましたが、お父さんパンダを見学できました。

動物園見学後、浅草で昼食をとって、午後からは飛行機の出発まで、バスで都内観光をしま



西郷隆盛像前にて



お台場フジテレビにて

した。限られた時間で、東京駅や国会議事堂、お台場などを見学できました。帯広空港に到着し、迎えのバスに乗り込むとほっと安堵の表情を見せた子どもたち。える夢館で解団式を行い、無事に3泊4日の日程を終了しました。

滑川市訪問を終えて…

小学5・6年生の子どもにとつて、親元を離れた、見知らぬ土地での研修は、大冒険だったに違いありません。不安や緊張を乗り越え、研修を終えた今、ひと回り成長した自分に出会えたはず。さらに、ホストファミリーをはじめとした滑川市の皆さんとの交流を通して、人の温もりに触れられたことは、生涯に残る宝物となるでしょう。

今回、滑川市での研修で訪問した施設に働く方から、「交流事業で、子どもたちに豊頃に行きました。今でも、大切な場所・思い出です。」とお話を伺いました。

豊頃から遠く離れた場所にも、この町のことを大切に思ってくれる方がいる…。本事業の歴史と両市町の絆を改めて感じたいものです。

結びに、町民の皆様のご理解により、本事業が平成元年から長きに渡り続けられていることに改めて感謝申し上げます。今後も滑川との友好が末永く続くことを祈念し、平成29年度姉妹都

市滑川市への豊頃町少年親善使節団派遣事業報告とさせていただきます。

【団員】

- 大橋クリスチャンケヴィン(豊頃小6年)
- 小山泰知(豊頃小6年)
- 河西玲奈(豊頃小6年)
- 斉藤瑠唯(豊頃小6年)
- 原田彩也香(豊頃小6年)
- 平賀華奈(豊頃小6年)
- 堀田和加奈(豊頃小6年)
- 原田一将(豊頃小5年)
- 山本丈太郎(豊頃小5年)
- 平間文乃(豊頃小5年)
- 山崎那友(豊頃小5年)

【引率者】

- 中村真也(団長・豊頃小校長)
- 幸坂秀樹(豊頃小教諭)
- 酒田尚美(豊頃小養護教諭)
- 熊谷圭志(教育委員会事務局員)

【豊頃町教育委員会】